

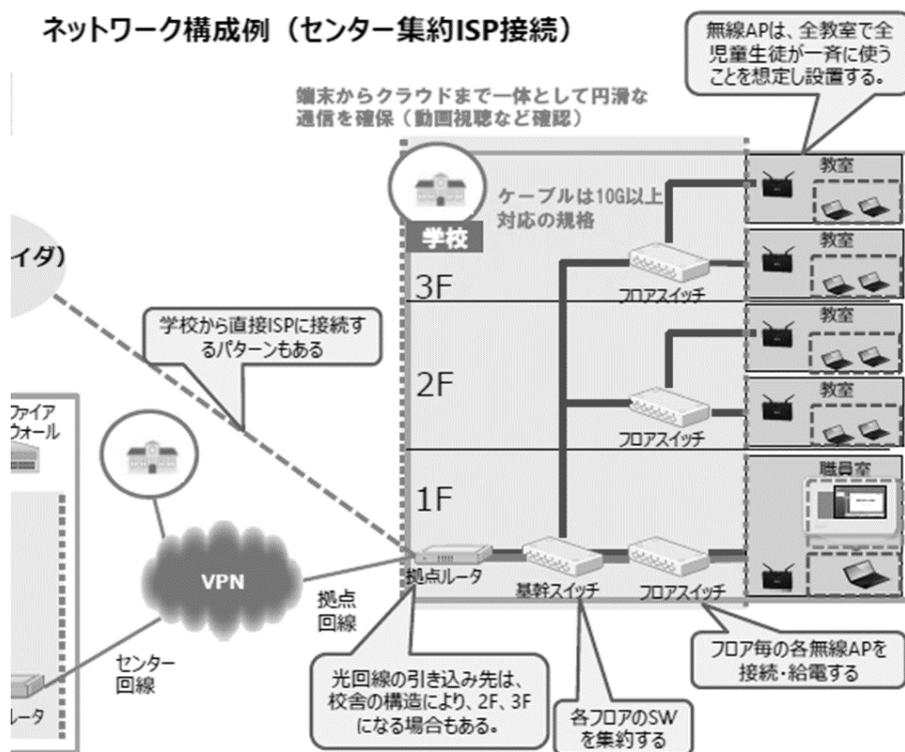
議案第 43 号

令和元年度宝塚市一般会計補正予算（第 6 号）

資料 14 小学校教育用コンピュータ運用事業、中学校コンピュータ運用事業、特別支援学校コンピュータ運用事業

(1) 校内通信ネットワーク整備工事の内容及び整備工事費の財源内訳

1. 校内通信ネットワーク整備工事により実現しようとしている整備内容



- ア. LAN ケーブルの更新（カテゴリ 6 A）
- イ. 無線 AP の設置（普通教室・特別教室）
- ウ. フロアスイッチの更新
- エ. タブレット保管庫の設置

2. 整備工事費の財源内訳

小学校教育用コンピュータ運用事業（事業費 617,320,000 円）

校内通信ネットワーク整備工事 国補正予算 補助金 1/2 補正予算債 1/2

中学校教育用コンピュータ運用事業（事業費 286,440,000 円）

校内通信ネットワーク整備工事 国補正予算 補助金 1/2 補正予算債 1/2

特別支援学校教育用コンピュータ運用事業（事業費 16,280,000 円）

校内通信ネットワーク整備工事 国補正予算 補助金 1/2 補正予算債 1/2

(2) G I G Aスクール構想についての今後のスケジュール及びランニングコスト

1. スケジュールについて

2020 年度 G I G Aスクール構想を活用した校内 LAN の整備

タブレット端末の導入（市で調達：4月に205台、1月に176台）

2021 年度 タブレット端末 2,000 台（市で調達）を導入予定

2022 年度 タブレット端末 8,000 台を導入予定

（2,000 台は市で調達、6,000 台はG I G Aスクール構想を活用）

2023 年度 タブレット端末 7,435 台（G I G Aスクール構想を活用）を導入予定

※国の補助金の状況により、タブレット端末導入は変動の可能性があります。

2. ランニングコストについて

児童生徒ひとり1台のタブレット端末を導入した場合にかかるランニングコスト（端末にかかる経費、運用に係る経費、回線使用料）は、年間に約2億2千万円の費用がかかると見込んでいます。先行的に導入している自治体の情報などを参考にしながら、より効果的な運用の仕方やコストの削減についての検討を進めて参ります。